

茶柱 その135

掛川お茶大使 & 日本茶インストラクター

吉岡亜衣加のお茶の間通信



**茶殻を有効活用した
とってもエコな堆肥作りをご紹介します♪**

いよいよ新茶の季節がやってきます。

ご予約をしたり、店頭で新茶を選んで購入される方もいらっしゃるでしょう。急須で淹れると新茶ならではのさわやかな香りをより一層楽しめますよね。

さてお茶を飲む機会の増えるこの季節ですが、急須に残った出廻らしはどのようににされていますでしょうか？ そのまま捨ててしまうことも多いと思います。中にはボン酢で召し上がったたり、お茶のふりかけを作ったりされる方もいらっしゃると思います。これはお茶の栄養成分を丸ごと体に取り入れられますので、とっても良いですね。そして最近、出

廻らしが園芸においても活躍するということを知り、すてきな有効活用だなあと感じましたので、皆さんにもぜひご紹介させていただこうと思いました。ご家庭で出る茶殻を使って、お手軽に堆肥を作ってみませんか？

まずは茶殻の水分を飛ばします。私は天日干しをしましたが、電子レンジを使用すると短時間で済みますし、水分を飛ばすのと同時にレンジの脱臭効果もあるので一石二鳥ですね。そして通気性の良いメッシュ生地のものや不織布バッグなどに使い古しの培養土と混ぜて入れます。何日か様子を見ながらかき混ぜたり、

土を足したりしてみてください。温かい季節だと1カ月ほどで完成。というように、私のような初心者でも簡単に作ることができます。

今回は、茶殻を使ってお手軽堆肥を作ります。



まずは天日干しや電子レンジで茶殻の水分を飛ばします。



使い古した培養土に混ぜ込み、1カ月ほどで完成です。



ほかに、これにコーヒーの出廻らしやぬかを入れる方法があったりと様々な作り方があるので、興味がある方はぜひ調べてみてくださいね。私も自宅のちょっとしたプランターで花を育てているので、この茶殻堆肥を使って花を元気に育てていきたいと思っています。今回はゴミも減り、とてもエコな茶殻を使った園芸活用法をご紹介しますので、



私のような初心者でも簡単に
つくることができました♪